医療型障害児入所施設
療養介護事業

社会福祉法人　養徳会

医療福祉センター

きずな

Medical welfare center KIZUNA

社会福祉法人　養徳会　　医療福祉センターきずな

理事長 **内藤正衛**

ごあいさつ

　どのような障害があろうとも、人々は互いに助け合い、補い合うという温もりのある支え合いの中に生まれる絆を育て確かめ合い、支え合うことが大切です。私たちは、今日を生かされている喜びを感じ、共有できる生活の場づくりを目指し、利用者のニーズに応じたサービスで、その期待と役割を果たします。

医療福祉センターきずな

開設者 内藤道成

（元兵庫県県会議員）

理念

何人も人と人との絆、社会との絆無くしては、生きていけない。絆は人間愛の源泉である。障害者にとって、障害を持つがゆえに絆の重要性は一層高まり、絆を糧にしてこそ自己の尊厳、人生の質を高めていくことが可能となる。本センターは利用される方々との絆、利用される家族との絆、地域の方々との絆、施設職員との絆、これら心温まる“きずな”を大切に育むことで、利用される方々が豊かな生活を送られることを目指すものである。

指針

1. 障害疾病・生活背景を理解し、生活・人生の質を重視した心温まる医療・看護・療育を提供いたします。
2. 障害から生じるハンディを個性として捉え、個のニーズに即した充実した生活を送れるよう支援いたします。
3. 人と人との絆を育み、人間としての尊厳と慈愛に満ちた“家庭”を手本とした温もりのある“生活の場”を目指します。
4. 個人情報を遵守したうえで、利用される方々とのコミュニケーションに努め、相互理解に基づいたサービスを提供いたします。
5. 障害児・者の健康と未来を守る、地域に開かれた医療福祉センターを目指します。

社会福祉法人養徳会が運営する施設

医療型障害児入所施設　医療福祉センターのぎく

昭和50年５月1日開設

幼保連携型認定こども園　みどりこども園

昭和28年4月1日開設

障害者支援施設　ひのもと青年寮

昭和47年５月１日開設

福祉型障害児入所施設　いちれつ学園

昭和38年4月1日開設

障害者支援施設　ふるさと寮

昭和59年4月1日開設

障害者生活支援センターようぼく

昭和53年4月1日開設

医師紹介

センター長　常石　秀市　Tsuneishi　Syuichi

神戸大学医学部卒業　医学博士
ベルギー王国ルーベン大学小児神経科
神戸大学医学部小児科学助教授
医療福祉センターきずな　院長

院長　田口　和裕　Taguchi Kazuhiro

神戸大学医学部卒業　医学博士
神戸大学医学部付属病院
姫路赤十字病院小児科
公立豊岡病院小児科
医療福祉センターきずな副院長

医師　宅見　晃子　Takumi Teruko

神戸大学医学部医学科卒業
兵庫県立のじぎく療育センター　小児科医長
兵庫県立こども病院　小児科部長
医療福祉センターきずな非常勤医師

医師（非常勤）　八木　隆三郎　Yagi Ryuzaburou

神戸大学医学部卒業　医学博士
財団法人住友病院　小児科
市立西脇病院　小児科部長
兵庫県立のじぎく療育センター　副院長
医療福祉センターきずな　センター長

重症心身障害児（者）とは

重度の知的障害と重度の肢体不自由とが重複している障害を重症心身障害といい、その状態にある子供を重症心身障害児といいます。さらに成人した重症心身障害児を含めて重症心身障害児（者）と呼びます。その判定基準は、国は明確に示していませんが、現在では、「大島の分類」という方法により判定するのが一般的です。

医療型障害児入所施設・療養介護事業

医療型障害児入所施設は、児童福祉法に定められた児童福祉施設で、18才未満の児童を対象とし、医療福祉センターきずなでは重症心身障害児が入所し生活をしています。医療法に規定する病院として必要な基準設備のもとに、児童指導員・保育士・心理指導を担当する職員・理学療法士や作業療法士を配置し、常時医療の管理により、生活指導や情緒面の指導等、総合的な療育を行なう施設です。

療養介護事業は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスで、重症心身障害児と同様の施設環境で、18歳以上の重症心身障害者を対象とし、機能訓練、療養上の管理、看護、介護や日常生活の支援等、療養介護サービスを提供します。

事業紹介

1.入所事業

（1）医療型障害児入所施設（18歳未満の方が利用）
療養介護事業（18 歳以上の方が利用）

① 対象者・利用人数

・18 歳未満で発症した障がいであり。重症心身障害児（者）の方

・医療型障害児入所と療養介護を合わせて定床80床

② 利用の手続き

・施設への入所申し込み

・きずな医師による予備診察

・保護者等と管轄こども家庭センター、市町との調整後受給者証の交付申請

③ サービス内容

生活面

・医療ケアと共に、食事・入浴・更衣・排泄介助等日常生活の支援を行う

・音楽・テレビ・ミュージックケア等により日常生活を楽しみながら機能の維持向上、発達支援を行ないます。

保険・医療面

・医師、看護師を中心とした医療ケアやリハビリにより健康管理を行います。

活動面

・秋祭り、クリスマス等施設内行事や遠足等外出により生活を楽しんでいただきます。

2.短期入所事業

（1）短期入所サービス

① 対象者・利用人数

障害児・知的障害者　指定利用人数8名/日

② 利用の手続き

・住所地の市町に受給者証の交付申請を行なう。

・きずな医師による予備診察

・契約→初回利用（日帰り利用）→１泊利用→継続利用

③ サービス内容

・基本的に入所サービスと同じですが、活動面においては状況に応じた対応となります。医療行為が発生した時は外来診療と同様の扱いになります。

・紙おむつ等の日用品は持参していただきます。

（2）医療型特定短期入所サービス（メディカルショート）

日帰り型の短期入所事業です。

対象者：受給者証の支給量に「療養介護」「重心」等と記載されている方（医療の必要な方）

その他：利用の手続き、サービス内容は短期入所事業に同じ

3.外来事業

対 象 者：障害児・者（知的・身体・発達等）
診療科目：小児科・内科・神経内科・リハビリ科
診療時間：午前９時～12 時　午後１時～５時
休 診 日：土・日・祝祭日　※全て予約診療（窓口・電話にて受付）

4.兵庫県医療的ケア児支援センター

兵庫県との受委託契約により「兵庫県医療的ケア児支援センター」の運営業務を行っています。日常的に医療的なケアを必要とするお子さんとご家族が、地域・ご自宅で安心して生活できるようさまざまな相談をお受けします。

相 談 員：医療的ケアの支援実績のある相談支援専門員1名
　　看護師1名
連 絡 先：TEL.0790-44-2886　FAX.0790-44-2929

教育

医療福祉センターきずなには義務教育の必要な方々も入所されています。当施設の教育上の管轄は「北はりま特別支援学校」になりますが、動ける人が少ないことや、生徒数も多いことから施設内に「北はりま特別支援学校きずな訪問学級」が設置され、先生方が常駐されています。

「沿革」

平成 19 年 5 月 7 日　在宅訪問学級きずな設置
平成 20 年 4 月 1 日　きずな訪問学級開設

「教育的支援の方針」

「明るく、仲良く、生き生きと」をモットーにして、子供たち一人ひとりのニーズに応じた適切な養育的支援を心がけていきます。

「教育目標及び重点方針」

ア・ともに生きていく力を育てる
イ・外界をとらえ、自分から働きかける力を育てる
ウ・人との共感関係を高め、人と交流する力を育てる

きずなでの生活の様子

きずなの主な行事

3月　・・卒業式　桃の節句
4月　・・入学式
5月　・・端午の節句
6月　・・七夕
　　ランチバイキング
10月　・・きずな秋まつり
　　運動会
　　ランチバイキング
12月　・・クリスマス会
1月　・・成人式
2月　・・節分

年2回スイーツバイキングや
各病棟でお誕生日にはお誕生日会があります。その他ドライブやお買い物にも出かけます。

1日のスケジュール

7：00　起床・顔拭き等の清容
7：30　朝食・口腔ケア
9：30　排泄/お手洗い
10：30　療育活動・レクレーション
　　入浴
12：00　昼食・口腔ケア
13：00　排泄/お手洗い
14：00　療育活動・レクレーション
　　入浴
15：00　おやつ
16：00　排泄/お手洗い 利用者個別支援
18：00　夕食・口腔ケア
20：00　排泄/お手洗い
21：00　消灯

※入浴は週3回を基本としています。
※リハビリテーション・訪問学級は
　利用者の状況に応じて行います。

病棟の特色

第 1 病棟

定床 40 床で、酸素、空気、吸引の医療配管が各病室、フロアーに設備されています。重症心身障害児(者)の中でも、超重症児・準重症児といった特に医療的ケアの高い人のフロアーです。職員も、看護師を主体とした医療に手厚い配置を行なっています。

第 2 病棟

定床40床で、第1病棟のように全室に医療配管は設置していませんが、看護詰所に近い部屋に設置し医療の安全を確保しています。重症心身障害児（者）の中でも車いすに乗れる人、座位を保てる人など比較的医療ケアの少ない人のフロアーです。療育棟内はA.B.C３つのユニットに分かれていて、それぞれ特色を持ったグループ毎に生活しています。職員は看護師と共に、介護福祉士、保育士、生活指導員といった、療育の職員を主体とした配置を行なっています。

フロアマップ・施設設備

施設へのアクセス

アクセス情報

- 中国道高速バス　加西IC・北条バス停下車
- 神姫バス　アスティアかさい下車
- 北条鉄道　北条町駅利用
  （上記の停留所から施設まで送迎します。）
- 自動車の場合
  - ＞中国自動車道加西ICから10分
  - ＞播但連絡自動車道市川南ICから25分
  - ＞北条町駅から10分
- 公共交通利用の場合
  - ＞神姫バス→姫路駅より北条行き約1時間
  - ＞JR・加古川駅より粟生駅まで約30分
    粟生駅より北条鉄道で北条町駅まで約30分

※カーナビでは、峠越えでの通行不能区間を案内する場合が
ありますので、ご注意下さい。
※カーナビを利用される場合は、「ヘアーサロンフジモト 0790-44-0530」をご登録ください。

施設の概要

開設　平成 19 年 4 月 1 日
規模　敷地面積 19,203 ㎡　延床面積 5392.3 ㎡（本体　5078.3 ㎡　リハビリ棟 314.0 ㎡）
構造　本体：鉄筋コンクリート造平屋建（一部 2 階建）リハビリ棟：鉄骨造平屋建
設備　特殊浴槽・食堂談話室・身障者用トイレ・診察室・処置室・X 線撮影室・CT 室・
各種検査室・面会居室・リハビリテーション室

医療福祉センターきずな
〒675 -2456
兵庫県加西市若井町字猪野 83 -31
TEL：0790 -44 -2881　FAX：0790 -44 -2929
E-mail kizuna@kind.ocn.ne.jp http://www.youtokukai.or.jp/kizuna/